

2 水辺と緑の散策 ニヶ領用水・渋川コース

全長 5.8km 時間 75分(ニヶ領用水コース)
全長 7.1km 時間 91分(渋川コース)



酔芙蓉

豊かな緑と水の散歩道、ニヶ領用水は、春には川沿いに桃の花が美しく咲き始め、満開の住吉桜が水面を染める頃には多くの人々がその風情を楽しみに訪れます。かるがもの里としても知られ、ザリガニやアメンボ、大きな鯉も遊ぶ、憩いの散策コースです。



ニヶ領用水 (MAP B-1~F-6)

徳川家康から治水と新田開発の命を受けた小泉次大夫が、14年をかけ慶長16(1611)年に農業用水として開削した県下で最も古い人工用水です。総延長32キロにわたるニヶ領の名は、川崎領と稲毛領にまたがっていたことに由来します。



ニヶ領用水



ニヶ領用水の桜

渋川 (MAP D-3~E-6)

渋川は川崎堀から分流する2.4キロの用水路です。川沿いには約250本の桜並木が続き、「住吉桜」として親しまれています。江戸時代末期には、いくつかの水車が回り、精米・製粉などが行われていました。



渋川



今井上町緑道 (MAP D-3)

今井上町緑道は、桜のシーズンはとても気持ちの良い散歩路です。松尾橋から山王橋までは緑道の下段にニヶ領用水の流れに沿って遊歩道が整備され、ベンチもあって親子ゾーンとなっています。笹舟などを浮かべながらそぞろ歩いてみてはいかがでしょうか。



東住吉小学校脇ニヶ領用水沿いのたちあおい



平和公園 (MAP E-5)

平和の香り漂うこの公園は、米軍出版センター跡地が全面返還されたのを機に恒久の平和を願って整備された公園であり、平和記念像、川崎市平和館、野外音楽堂などがあります。桜の名所として大勢の人が花見に訪れ、夏には流れる水の広場で子供たちが遊び、また、1年を通じて区民のみなさんがジョギングなどを楽しんでいます。



平和公園